

書店と図書館がつなぐ未来の読者 in 長野

書店と図書館の合同研修会

主催：本の未来と読者を考える書店・図書館等による連携協議会事務局
一般財団法人出版文化産業振興財団（JPIC）

共催：長野県書店商業組合／長野県図書館協会

最新動向：全国的な書店・図書館をめぐる動きや 世界の状況

2026年1月23日

京都橘大学 司書課程(図書館長補佐)

教授 嶋田 学



最新動向：全国的な書店・図書館をめぐる動きや世界の状況

書店・出版の動向は
笠原様のプレゼンで…

2026年1月23日

京都橘大学 司書課程(図書館長補佐)

教授 嶋田 学



1. 産業振興に関わる動き

街の本屋さんを元気にして、日本の文化を守る議員連盟

- ✓ 2022年4月 書店議連（自民党議連）の窓口を日書連・JPICが共同で担う

提言書中間報告 第一次提言

- ✓ 2022年12月
- ✓ 2023年4月

「経済財政運営と改革の基本方針（骨太の方針）」

- ✓ 2023年6月 「書籍を含む文字・活字文化」の振興と掲載
- ✓ 2024年6月 書籍を含む文字・活字文化の振興や書店の活性化を図ると掲載

経済産業省「書店振興プロジェクトチーム」発足

- ✓ 2024年3月 経済産業省において、部局横断のプロジェクトチームを立ち上げ
- ✓ 2024年10月 「書店活性化のための課題（案）」を公表、パブリックコメントを募集

『書店活性化プラン』発表

✓ 2025年6月10日

- ✓ 2025年6月13日 「骨太の方針2025」閣議決定 「書店活性化プランの推進」と記載
- ✓ 2025年6月16日 書店議連総会開催 更なる書店活性化に向けた決議

2. 書店・図書館等関係者における対話の場 文部科学省

【開催趣旨】 2023年10月～2024年3月（計4回）

全ての国民があらゆる機会と場所において書籍に触れ、読書を行うことができるよう、文化拠点としての書店等の振興、子供の読書活動、文化活動の推進等につながる取組を支援するとともに、**著者、出版社、書店と図書館との共存・共栄による新たな価値創造を推進**することが必要である。これを踏まえ、以下のとおり対話の場を開催し、関係者の連携促進を図る。

その具体的方策として、書店と図書館が**連携する優良事例**の収集・普及、これと合わせて図書館と書店が**共存できるモデル**やルールづくりの検討が必要であり、これを検討するために図書館関係者、書店関係者、文部科学省の参画による**対話の場**を設置することが求められた。

「書店・図書館等の連携による読書活動の推進について～書店・図書館等関係者における対話のまとめ～」令和6(2024)年3月

2. 書店・図書館等関係者における対話の場 文部科学省

「書店・図書館等の連携による読書活動の推進について～書店・図書館等関係者における対話のまとめ～」令和6(2024)年3月

【書店・図書館等の連携促進に向けて～確認事項～】

第一に、複本問題および図書館の所蔵・貸出が書店等の売上に及ぼす影響について次のことを確認した。

日本図書館協会の調査によれば**ベストセラー本の複本は平均1.46冊で、**図書館の**約6割の図書館の複本は「2冊未満」**で過度とはいえない状況にある。

全国の公共図書館の**所蔵・貸出**が**新刊書籍市場に与える影響**について分析した2023年の実証研究は、①**平均**すれば、全体として図書館による新刊書籍市場の売上への**マイナスの影響は大きくない**ことを示した。ただし、②同時にそれは**一部のベストセラーに限ればマイナスの影響が小さくない**ことも付け加えている。

2. 書店・図書館等関係者における対話の場 文部科学省

「書店・図書館等の連携による読書活動の推進について～書店・図書館等関係者における対話のまとめ～」令和6(2024)年3月

【書店・図書館等の連携促進に向けて～確認事項～】

第二に、図書館の地元書店からの購入について次のことを確認した。図書館設置自治体にある書店または書店組合からの購入は非常に多い。自治体内のみから購入する図書館は28%、自治体内外の併用が66%であり、自治体内外を併用している図書館でも、多くはそのほとんどを自治体内で購入している。

一方で、装備を含めた上での定価購入や、それに加えて割引による購入を求める自治体は一定数ある。その結果、書店側が十分に利益を得られていないケースもみられる。これに対し、図書館と書店の連携促進の観点から地元書店からの購入を推奨するにあたっては、各自治体における購入方法に対して装備コストへの考慮を求める必要があるがあった。

2. 書店・図書館等関係者における対話の場 文部科学省

「書店・図書館等の連携による読書活動の推進について～書店・図書館等関係者における対話のまとめ～」令和6(2024)年3月

【書店・図書館等の連携促進方策】

- 書店在庫情報システムの開発と図書館との連携
- 書店での図書館資料の受け取り・返却、図書館での書籍販売等
- 「図書館本大賞」（仮称）の創設
- 優良事例の収集・普及

3. 本の未来と読者を考える「書店・図書館等による連携協議会」

令和7(2025)年8月 発足

出版文化産業振興財団 (JPIC) と日本図書館協会 (JLA) が事務局

「対話の場のまとめ」においては、「書店・図書館等が直面する現状と課題に対して、書店・図書館等関係者が協力し、読者人口を増やすこと、すなわち「読者育成」を目指すことに大きな意義があることを確認した。」として、書店・図書館等の連携促進方策を提案している。
それを受け、次の連携促進方策に取り組み、実証と検証・普及を推進する。

- 書店と図書館とのシステム連携(書店在庫情報システム)
- 書店での図書館資料の受け取り・返却、図書館での書籍販売等
- 「図書館本大賞」(仮称)の創設(「本の甲子園」)
- 実践事例の収集・普及

「書店と図書館員が学び合える「研修機会」を設ける

4. 書店・図書館の連携(文部科学省の取り組み)

“書店・図書館等関係者における対話の場” を実施

✓ 2023年10月～2024年3月 (計4回)

「図書館・書店等連携実践事例集」を公開

✓ 2024年10月

「図書館・学校図書館の運営の充実に関する有識者会議」
の発足

令和6年度 補正予算

文字・活字文化の振興 51百万円

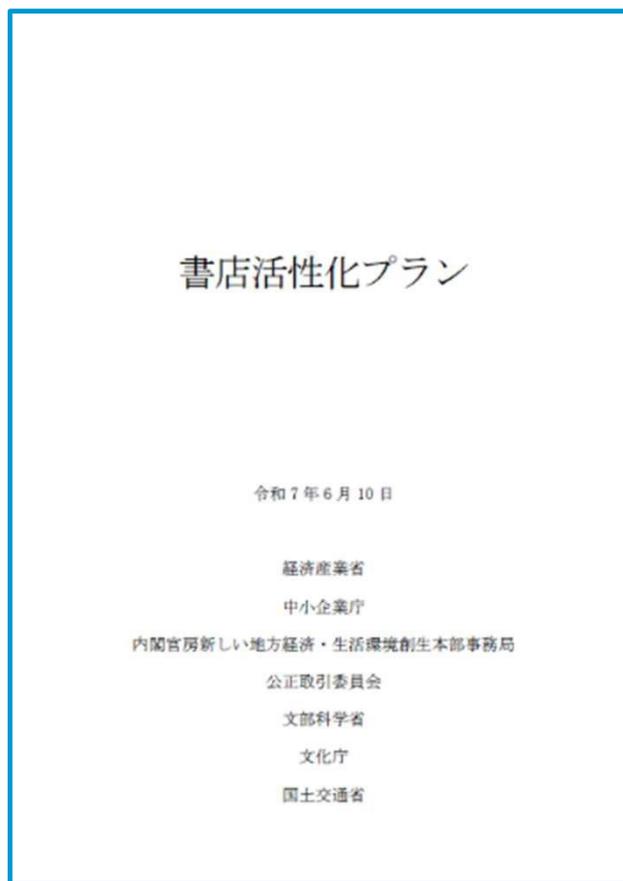
1. 読書のまちづくり推進事業

6箇所(自治体等)×6百万円=36百万円

2. 図書館・書店等連携促進に向けた調査研究 6百万円

3. 障害者サービスの調査等 9百万円

5. 「書店活性化プラン」概要



- I 読書人口の減少や書店の魅力向上に関する課題への支援
- II 地域における書店と図書館・自治体との連携の在り方に関する支援
- III 業界慣行における課題への支援
- IV 経営における効率化・省力化に関する課題への支援
- V 新規開店やキャッシュレス決済に関する課題への支援

引き続き、本プランを発表後も、各省連携により、継続的に見直し、必要な課題の整理や本プランのメニューの調整を行い、取り組みを進める。

6. 書店振興施策の拡充を求める決議

2025/6/16 書店議連
決議資料より要約

「一村一書店運動」のような各自治体に書店を存在させる取り組みの支援
【内閣官房新しい地方経済・生活環境創生本部事務局】

キャッシュレス決済におけるクレジットカード会社の低廉な手数料率プランの
周知徹底
【経済産業省】

読書推進人材の支援絵本専門士などの拡大、強化、周知
【文部科学省】

地域書店からの図書購入及び装備費の扱い等について、各省庁連携のうえで調査
【文部科学省・経済産業省】

付録付き雑誌のセット組作業に対し、書店への適切な対価の支払など対応検討
【公正取引委員会】

魅力的な書店作りに取り組むための政府機関の支援策の周知徹底
【中小企業庁】

大手書店やネット書店における過度なポイント還元や送料無料への対策必要性の
検討
【文化庁・公正取引委員会】

7. 日本の図書館の動向

日本の公共図書館の新しい展開

- 1) デジタル化・DX：地域資料のデジタルアーカイブ構築が進展。
国立国会図書館が2023–2024年に全国12地域で研修・意見交換を実施。
- 2) 地域課題解決拠点化：図書館は「市民交流・生涯学習の拠点」として、行政情報発信や市民講座の開催など、地域活性化に寄与。
- 3) 国際的理念の更新：2022年のIFLA-UNESCO公共図書館宣言では、公共図書館を「教育・文化・社会的包摂の必須機関」と位置づけ、ユニバーサルアクセスと持続可能性を強調。
- 4) 利用動向：来館者数や貸出冊数はコロナ禍で減少したが、電子書籍サービスや障害者向けサービスの導入が拡大。

8. 世界の図書館の動向

世界の図書館動向

1) 先進国での図書館ネットワークの縮小

- ・ 経済的に豊かな国ほど、公共図書館の館数が減少する傾向が確認されている。
- ・ 背景には、利用者の情報取得がデジタルへ移行し、来館需要が低下していることがある。

2) デジタルサービスの急速な拡大

- ・ 多くの国で Wi-Fi、オンライン貸出、デジタルアーカイブ、AI活用などが標準化しつつある。

8. 世界の図書館の動向

世界の図書館動向

3) 図書館の役割の多様化（コミュニティ支援へ）

- ・ ホームレス支援、学習支援、デジタルリテラシー講座、地域の避難所機能など、社会的包摂の拠点としての役割が拡大。

“デジタル・インクルージョン”

4) AI・新技術の導入

- ・ AIはレファレンス、資料整理、学習支援などで活用が進む一方、信頼性・倫理・スキルの課題も指摘されている。
- ・ AR(Augmented Reality：拡張現実)/VR(Virtual Reality：仮想現実)を使った展示や学習プログラムも増加。

8. 世界の図書館の動向

世界の図書館動向

5) IFLAが示す長期トレンド

- ・ 情報環境の変化に対応するため、図書館は「レジリエンス」「持続可能性」「スキル再編」を重視する方向へ。

9. 日本と海外の図書館における市民参加と社会的包摂

日本の公共図書館：市民参加の制度的枠組み

1) 法的基盤

- ・ 図書館法（1950年制定）により「住民の教育・学習のための施設」として位置づけ。
- ・ 地方自治体が設置主体であり、住民自治の枠組みの中で運営される。

2) 参加の形態

- ・ 図書館協議会：住民代表や教育関係者が参加し、運営方針やサービス改善を審議。
- ・ ボランティア活動：読み聞かせ、資料整理、イベント企画など。市民が直接図書館活動に関与。「図書館友の会」という枠組み。
- ・ 市民提案型事業：近年は「市民協働事業」として、地域課題解決型プログラム（例：高齢者の居場所づくり、子育て支援）を図書館が受け入れる。

9. 日本と海外の図書館における市民参加と社会的包摂

日本の公共図書館：市民参加の制度的枠組み

3) 課題

- ・ 図書館協議会の権限は助言的にとどまり、意思決定権は自治体にある。
- ・ ボランティア依存が強く、持続可能性や代表性に課題。
- ・ 図書館職員に「市民参加」や「住民協働」に関する意識が希薄
- ・ 非正規職員の比率が高まり経済格差や不安定雇用等の社会問題となっている。(公務労働において図書館は顕著)
- ・ 正規職員の減少により、政策形成力が低下している。

9. 日本と海外の図書館における市民参加と社会的包摂

日本の公共図書館：市民参加の制度的枠組み

4) 市民参加(住民協働)がなぜ必要なのか

- ・そもそも地方自治は「住民自治」の理念を内包している
- ・代表制民主主義だけでは、多様化複雑化する自治体課題を解決することが困難な時代に直面している
- ・協働は市民の当事者意識を醸成し「住民自治」の理念を体現することにつながる
- ・自治に参画すること自体が市民の学習行為として重要
- ・自治体の政策形成能力が停滞している

9. 日本と海外の図書館における市民参加と社会的包摂

5) 海外の図書館：社会的包摂の事例

- ・ 欧州（例：フィンランド・デンマーク）
 - ・ 図書館を「市民のリビングルーム」と位置づけ、移民・難民への言語学習支援、就労相談を提供。
 - ・ 法制度上も「文化権」「情報アクセス権」の保障に基づき、社会的包摂を図書館の使命に組み込む。
- ・ 米国
 - ・ 公共図書館が「コミュニティセンター」として機能。ホームレス支援（図書館内にソーシャルワーカー配置）、健康相談、選挙情報提供など。
 - ・ ALA（米国図書館協会）が「Equity（公平性）、Diversity（多様性）Inclusion（包括性）」を基本方針に掲げ、図書館サービスの評価基準に組み込む。

9. 日本と海外の図書館における市民参加と社会的包摂

5) 海外の図書館：社会的包摂の事例

- ・ 国際的潮流（ユネスコ・IFLA「公共図書館宣言 2022」）
- ・ 公共図書館は「教育・文化・社会的包摂の必須機関」と明記。
- ・ デジタルアクセス保障、障害者・高齢者・移民など多様な利用者へのサービス拡充を国際的に推奨。

10. まとめ～求められる図書館の役割と展望(事例紹介)

- ・ 「自己責任」を迫る社会の中の「個人」の自立を支える
 - ・ 環境・自然破壊
 - ・ 災害・防災
 - ・ 健康・医療
 - ・ 子育て・教育
 - ・ 生活の質・家計
 - ・ 経済不安・格差社会
- 課題ごとに住民が**当事者意識**を手掛かりに**連帯**する機会を行政連携による集会活動によってつくり出す。
- 「住民参加」「市民協働」による住民自治の実現

10. まとめ～求められる図書館の役割と展望(事例紹介)

- ・ 課題解決の手段としての図書館機能と政策連携の事例
 - ・ 認知症や介護予防の社会化
「認知症サポーター養成講座」や「認知症カフェ」「地域回想法」を図書館で開催。
→ 地域包括支援センターとの連携
 - ・ 健康寿命対策と適切な医療費のあり方
「健康医療情報セミナー」を図書館で開催。
→ 病院事業部、大学病院等との連携
 - ・ 地場産業支援や空き家対策
→ 産業振興課、商工会議所との連携
- ・ その他、災害、防災、子育て・教育、家計、経済不安等、楽しみのためのアクティビティも用意する。



入場
無料

乳がんを知ろう ～乳がんの不安・疑問にお答えします～

乳がんは、女性の9人に1人が罹患する病気です。20代の若い世代から、80代の高齢者まで、乳がんになる可能性があります。乳がんは、30～64歳の女性のがん死亡原因の第1位となっていますが、早期に発見すれば治るがんでもあります。

乳がんは遺伝する？かかりやすい人はいる？などの疑問や、乳がんのセルフチェック・検査・治療について、専門医の先生からわかりやすくお話していただきます。



日時 9月29日(日)
10:30～12:00

場所 瀬戸内市民図書館
つどいのへや

定員 40名(要申込・先着順)

8月25日(日)10:00～
市民図書館1階カウンター、電話にて受付

★託児あり(ご希望の方は、申込時にお伝えください)

講師

元木 崇之さん
岡山済生会総合病院 副院長 乳腺甲状腺外科 医師

岡本 直美さん
がん相談支援センター相談員/乳がん看護認定看護師

お申し込み・お問い合わせ

瀬戸内市民図書館
電話：0869-24-8900



令和6年度 **こころ**の健康づくり講演会



ストレスと上手に 付き合うコツ

様々な面で変動の多い現代社会は、ストレスの多い時代であると言われています。イライラや落ち込みなどのストレス反応は、誰にでも起こるものですが、上手に対処できずいると、心身に不調をきたし、社会生活をうまく送れなくなってしまうこともあるため、不調にはやく気づき、対処することが大切です。

3月の『自殺対策強化月間』にあわせて、こころの健康づくりのための講演会を開催します。ストレスと上手に付き合いながら生活するためのコツを、一緒に聞いてみませんか。

日時 令和7年2月8日(土)
14:00～15:30(開場・受付 13:30)

講師 川崎医療福祉大学 医療福祉学部 臨床心理学科

谷原 弘之 氏



会場 瀬戸内市民図書館 つどいのへや(邑久町尾張 465-1)

参加費 無料(定員50名程度、申込制、手話通訳・要約筆記あり)

申込方法 電話・FAX・オンライン
詳しくは裏面をご覧ください



オンライン申し込みは
こちらから(市ホームページ)

申込期限 令和7年2月6日(木)



当日、会場には心の健康に関連した本を展示します。貸出もできますので、ぜひご利用ください。

【主催】 瀬戸内市 こども・健康部 健康づくり推進課 ・ 瀬戸内市民図書館

【問い合わせ・申込先】 瀬戸内市 こども・健康部 健康づくり推進課

電話：0869-24-8031 FAX：0869-24-8081



認知症 サポーター 養成講座



認知症サポーターとは、認知症の人の『応援者（サポーター）』のことを指し、特別なことをするのではなく認知症について正しく理解し、認知症の人や家族を温かい目で見守っていきます。

認知症はだれでもなる可能性のある病気です。瀬戸内市では、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりのために、認知症サポーターを養成しています。この講座で、認知症について学び、地域の支えあいの輪を広げていきませんか。お気軽にご参加ください。

11.15 (水)
13:30-15:00

瀬戸内市民図書館
つどいのへや
(瀬戸内市邑久町尾張 465-1)

11.22 (水)
19:00-20:30

瀬戸内市総合福祉センター
大会議室 (2階)
(瀬戸内市邑久町山田庄 862-1)

※各会場、同じ内容です

- ◆ 講師 : 認知症キャラバン・メイト (研修を受講した講師)
- ◆ 参加費 : 無料
- ◆ 申込み : 不要。当日、会場へお越しください。
- ◆ 対象者 : 関心のある方ならどなたでも

※講座修了者の方に
認知症サポーターの
証である「オレンジ
リング」を贈呈しま
す。



【問い合わせ先】



瀬戸内市地域包括支援センター TEL (0869) 24-0001

もみわセミナー vol.18

発達障害って なんだろう？

とき 2月28日 (木) 11:00~12:00
ところ 瀬戸内市民図書館 つどいのへや
講師 万波 奈津子さん
 (瀬戸内市健康づくり推進課 臨床心理士)



発達障害ってどんな障害？
 どんな症状があるの？
 どこへ相談すればいい？
 診断されたら何をしたらいいの？



…など、発達障害に関する基本的なことや、サポートなどについて、スクールカウンセラーのご経験をもとに、お話していただきます。



**参加無料
申込不要**

主催：瀬戸内市民図書館 / 協力：瀬戸内市保健福祉部健康づくり推進課



能登半島地震から1年 ～もし地震が起きたら、あなたはどうしますか？～

能登半島地震の支援活動をされた方を講師に、巨大地震の発生に備えて、今何をすべきか考えます。

被災者がどんなことで困っていたかを教訓に、今後の備えを考える講演会の後、みなさんがご記入くださったカードに対して、アドバイスをいただきます。

日時 ▶ 1月25日（土）13:30~15:00

会場 ▶ 瀬戸内市民図書館 つどいのへや

定員 ▶ 先着40名（申込不要 参加無料）

講師 ▶ 難波 澄江さん
（災害支援ナース/災害派遣医療チームDMAT隊員/防災士）
園田 将人さん
（瀬戸内市危機管理課主任）

地震の時に、心配な事や備えている事を教えてください！

【もちより、みつけ、わけあう防災編カード】を募集中

11月9日（土）～1月10日（金）まで【もちより、みつけ、わけあう防災編カード】をカウンターでお配りしています。ご記入くださったカードは、カウンターまでお持ちください。1月に、特集展示と共に掲示します。

お問い合わせ

瀬戸内市民図書館もみわ広場

☎0869-24-8900

地場産品を使った味噌玉作り
お湯を注ぐだけで、簡単味噌汁
ができます！

食のしあわせプロジェクト
コラボ

参加費
800円

味噌玉作り 体験



とき：5月6日【火】10:30~11:30
ところ：瀬戸内市民図書館 つどいのへや

講師：谷みかさん

（ウシマドゲストハウスわんどころ代表）

持ち物：エプロン・三角巾・マスク



申込み：4月1日（火）10:00～

市民図書館カウンター・電話にて受付

定員
20名

瀬戸内市民図書館
TEL: 0869-24-8900

『空き家・相続 ・税金の相談会』



宅地建物取引士
石田信治氏

空き家（不動産）・相続・税金にまつわる個別相談会です。
宅地建物取引士の石田信治さん、司法書士の國方大輔さん、
税理士の山野謙二さんに、直接相談にのっていただけます。



司法書士
國方大輔氏



税理士
山野謙二氏

日時：令和6年11月23日（土） 10：00～12：00
場所：瀬戸内市民図書館 2階ミーティングルーム
定員：定員9名（相談時間：30分程度）要申込・参加無料

※10月26日（土）10：00～
市民図書館カウンター・電話にて受付
お問い合わせ先 瀬戸内市民図書館 0869-24-8900

夜までまるっと せとうち☆ ライブラリー

Setouchi City Library
momiwa

瀬戸内市民図書館 もみわ広場は
1月17日(金)・18日(土)の2日間
開館時間を20:30まで延長して
イベントを開催します

“情報と対話のコミュニティ”をテーマに
市民活動交流会やとしょかんマルシェ、
映画会を実施します
楽しい時間をみんなで過ごしませんか

冬はみんなまで 本と映画と マーケット

イベント開催日は
開館時間を
20:30まで
延長!



日程 / 2025年1月17日(金)・18日(土)
会場 / 瀬戸内市民図書館 もみわ広場

主催: NPO 法人みんなの劇場・おかやま 共催: 瀬戸内市民図書館
協力: 瀬戸内ほしのさなみ映画館 パトリアなつとわーく

令和6年度瀬戸内市協働推進事業 情報と対話の交流コミュニティ「夜までまるっとせとうちライブラリー」



夜までまるっと
せとうち☆
ライブラリー
Setouchi City Library
momiwa



冬の「夜までまるっとせとうちライブラリー」は
市民活動交流会・マーケット・映画会と盛りだくさんです。
人×モノ×本がつながりまざる2日間
新しい本との出会いが待っています!

イベント開催日は
開館時間を
20:30まで
延長!

2025年1月17日(金) ■参加無料 ■予約不要 ■出入り自由
■チラシ・パンフレットのみ参加もOK!

つなぐとしょかん(市民活動交流会)
18:30~20:00 つどいのへや

瀬戸内市で活動する個人・団体のみなさんが、情報交換できる交流会を開催します。
活動を知りたい人、どんな活動があるのか興味のある人は全員集合!
1分間プレゼンで参加者全員の活動を紹介したあとは、交流会でもあろう。

活動紹介は動画にして
YouTubeで公開予定

1月18日(土) 本とわたしのマーケット
15:00~17:30 図書館

みんなのマーケット

子どもたちや学生さんの
出店待ってます!

子どもから大人まで参加できる小さな
お店。小学生の似顔絵屋さん、一箱
古本、文具や雑貨のリサイクル、編み
物ワークショップなど、いろんなお店が
館内にオープンします。

詳細は参加者にお伝えします。

申し込みフォーム



オリーブの庭マーケット

本とおやつエトセトラ

<p>OLAPA</p> <p>クッキー マフィン パウンドケーキ</p>	<p>かいじゅうたね</p> <p>自然栽培野菜を 使った健康志向な お菓子のブランド</p>
<p>CHONTO</p> <p>自家製お菓子 販売</p>	<p>HÜTTE トキドキパンヤザン</p> <p>地元産国産小麦の オーガニックお菓子パン</p>
<p>Pukapuka</p> <p>小麦粉・ 乳脂肪・卵・ 自家製干菜油の フューリングお菓子</p>	<p>ミツバチ米粉研究所</p> <p>自家製粉の 実験のケーキと 焼きた菓子</p>
<p>モリスケ</p> <p>シフォンケーキ 焼きた菓子 クッキー</p>	<p>ワークショップ 無料</p> <p>折り紙 irodori</p> <p>折り紙アーティスト あやさんと一緒に 折り紙で遊ぼう!</p>

あの場所、この場所が、その夜だけの特別な映画館になるー
みんなで集まって映画を楽しもう!

コラボ企画

瀬戸内ほしのさなみ映画館

上映作品『Single 8』

17:00~(上映時間113分) 交流の庭

■参加無料 ■申込不要 ■無料でお観覧ください

映画作りに情熱を燃やす若者たちを描く
70年代青春グラフィティ

1978年夏、高校生の広生は日本で公開されたばかり
の「スターウォーズ」を観て大興奮!自分も巨大な
宇宙船を操りたいと3ミリカメラを手にする。映画作
りへの熱い思いはいつしかクラスメイトたちを巻き込
み、文化祭の飾り物で監督作品が上映されることに。
こうして忘れられない夏休みの撮影が始まったー。



Web site Instagram Facebook X

701-4221 岡山県瀬戸内市邑久町尾張465-1 tel.0869-24-8900 mail.tosho@city.setouchi.lg.jp

■主催・お問合せ NPO 法人みんなの劇場・おかやま 704-8111 岡山市東区西大寺346
tel.086-942-1544 mail.k-g-sada@cm31.sku.ne.jp



図書館が市民協働と行政連携のネットワークのハブとなる



参考文献

Current Trends in the Evolution of Public Libraries Based on Global Library Statistics

<https://link.springer.com/article/10.3103/S0147688225700054>

Pulse of the Library - Clarivate. (Assessing the pulse of the library)

<https://clarivate.com/pulse-of-the-library/>

Public library trends and innovations to watch for in 2024

<https://blog.pressreader.com/libraries-institutions/public-library-trends-and-innovations-to-watch-for-in-2024>

Trend Report – IFLA.

<https://www.ifla.org/trend-report/>

3CA2080 – 動向レビュー：日本の公共図書館における地域資料のデジタル化及びデジタルアーカイブ構築の現状 / 岡本常将

<https://current.ndl.go.jp/ca2080>

参考文献

大場博幸 「公共図書館の所蔵および貸出は新刊書籍の売上にどの程度影響するか：パネルデータによる分析」 『日本図書館情報学会誌』 69(2)

https://doi.org/10.20651/jslis.69.2_67

岡部幸祐 「書店・図書館等関係者における対話の場（第1回）」

<https://www.jplic.or.jp/topics/docs/6ae48b186029c7c4aa9426ffd33f7a7f67165996.pdf>

『市政』（2025年3月号）生涯学習・市民交流の拠点として地域に幅広く貢献する公共図書館

https://www.toshikaikan.or.jp/shisei/2025/pdf/202503/2025_03_special.pdf

IFLA-UNESCO公共図書館宣言2022 - 日本図書館協会

https://www.jla.or.jp/library_resources_and_guidelines/ifla-unesco-public-library-manifesto2022/

未来の図書館 研究所 NEWS LETTER No.10 (2022.9.)

https://www.miraitosyokan.jp/future_lib/news_letter/LoFR_NEWS_LETTER_No10.pdf

参考資料集(関係データ) - 文部科学省

https://www.mext.go.jp/content/20250716-mxt_chisui01_000043572_09.pdf

国際図書館連盟（IFLA）、世界の学術図書館の2024年の主要動向（記事紹介）

<https://current.ndl.go.jp/car/253229>